

## 信州大学附属図書館農学部図書館

### Shinshu University, Agricultural Library

#### 1. はじめに

信州大学農学部（伊那キャンパス）は、南アルプスと中央アルプスの2つのアルプスをのぞむ長野県上伊那郡南箕輪村にあります。また、同村のほかに長野県内4ヶ所、標高760mから3,000m、総面積630haのフィールドを持っており、この豊かな環境の下で、フィールドワークとラボワークの融合による教育研究を行っています。

伊那キャンパスには、学部として農学部農学生命科学科（生命機能科学コース、動物資源生命科学コース、植物資源科学コース、森林・環境共生学コース）が、大学院修士課程として総合理工学研究科農学専攻（先端生命科学分野、食品生命科学分野、生物資源科学分野、環境共生学分野）および生命医工学専攻（生命工学分野）が、大学院博士課程として総合工学系研究科山岳地域環境科学専攻および生物・食料科学専攻があります。

学生は、学部1年生の1年間は松本キャンパスにて他学部学生と共に学び、学部2年生から伊那キャンパスにて学び始めます。

#### 2. 信州大学附属図書館

信州大学附属図書館は、中央図書館（松本キャンパス：松本市）、教育学部図書館（長野（教育）キャンパス：長野市）、医学部図書館（松本キャンパス：松本市）、工学部図書館（長野（工学）キャンパス：長野市）、農学部図書館（伊那キャンパス：南箕輪村）、繊維学部図書館（上田キャンパス：上田市）の6つの図書館（5キャンパス）により構成されています。

中央図書館は統括の役割を担い、各図書館は分館ではなくそれぞれ独立しています。各図書館にはそれぞれ図書館長が存在し、利用条件、予算等も異なっています。

各図書館は離れた場所にあります。利用者は他キャンパス図書館の資料を取り寄せて借りることができます。また、他キャンパス図書館で直接資料を借りることもでき、借りた資料は各図書館で返却することができます。



写真1 農学部図書館

#### 3. 農学部図書館

##### 1) 施設

信州大学農学部は、昭和20（1945）年に長野県立農林専門学校として開校し、昭和24（1949）年に信州大学農学部として発足しました。図書館は、信州大学となってから昭和28（1953）年に木造平屋建ての附属図書館農学部分館（約397㎡）が竣工し、その後、農学部第二期拡充計画として、昭和46（1971）年に現在の図書館が竣工しました。



写真 2 2階書架



写真 3 1階書架 (閲覧室)

その後、狭隘化に伴い、平成 23 年度には隣接棟の一室を改修して保存庫 (46 m<sup>2</sup>) とし、集密書架を設置しました。また、平成 24 年度には、図書館内のコピー機等が設置されていた部屋 (36 m<sup>2</sup>) をラーニングcommonsスペースに改修しました。

現在の農学部図書館はRC造2階建ての図書館と保存庫から成り、総延面積は1,209 m<sup>2</sup>です。少し変わった構造をしていて、1階から2階まで貫いた書架があり、その間に1階の天井(2階の床)が設置されています。そのため過去の設計資料には、1階建てと記載され、面積は1階分のみが計上されているものもあります。

階段は事務室内にあるため、2階に上がるには一旦事務室に入らなければなりません。また、

出入口が1ヶ所のみで事務用の出入口がないため、利用者も業務で来館する教職員も業者も同一の出入口を使っています。軒がないため、雨が降ってくると窓を閉める必要があります。

## 2) サービス

農学部図書館は、奉仕対象 909 名 (学生 : 741 名、教職員 : 168 名) (平成 28 年 5 月 1 日現在)、蔵書数 102,866 冊 (平成 27 年度末現在) です。開館時間は、授業期は平日 8 : 45 ~ 21 : 00、土曜日 11 : 00 ~ 18 : 00、休業期は平日 8 : 45 ~ 17 : 00 です。試験期には開館時間を延長し、土曜日・日曜日・祝日に 11 : 00 ~ 19 : 00 まで開館しています。

図書館 1 階は閲覧室とホールに分かれています。閲覧室には図書、雑誌等主な資料を配架し、静かに学習するスペースとしています。密閉可能な容器の飲料の持ち込みが可能です。ホール



写真 4 ホール



写真 5 集密書架 (保存庫)

には新聞のほか軽い読み物を配架し、ラーニングコモンズスペースとしています。グループ学習室はありませんが、ホール全体がラーニングコモンズスペースとなっています。軽度の飲食が可能です。図書館2階には、統計・年鑑、大学紀要、都道府県・国の研究機関発行資料等を配架しています。別棟にある保存庫には貴重資料、出版年の古い資料、修士論文等を保管しています。保存庫は閉架式で、資料の利用希望があった場合は職員が取りに行きます。

電子ジャーナル・電子ブック・データベースについては、信州大学が全キャンパスに導入しているサービスが利用可能です。伊那キャンパス限定で利用可能な電子ジャーナルもあります。農学部図書館購読の国内雑誌、外国雑誌（冊子体、電子ジャーナル）については、平成24年度に経費削減、利用状況および雑誌のオンラインでの公開状況等を検討して見直しを実施し、国内雑誌の一部および外国雑誌については全ての購読を中止しています。

地域連携として、南箕輪村図書館、伊那市立図書館と連携協定を結んでいます。伊那市立図書館については、資料を相互に返却することができます。また、農学部図書館に伊那市立図書館サービスポイントとして端末が設置されていますので、信州大学学生および教職員限定ですが、伊那市立図書館資料の貸出・返却ができます。

### 3) 運営

農学部における委員会組織の見直しにより、平成23年度で図書館委員会「図書等刊行委員会」が廃止されたため、現在は、図書館の運営、予算、諸規程の制定・改廃、その他図書館に関する重要事項については図書館長と図書館主査が協議し、必要に応じて学部の執行会議「企画運営会議」に付議または報告しています。また、図書館が発行業務を担当している冊子「信州大学農学部紀要」および「信州大学農学部研究及び社会活動・国際交流の概要」については、図書館主査が委員となり、農学部広報委員会にて審議、処理しています。

職員は5名（職員3名、非常勤職員2名）で、

図書館の運営・管理を行っています。カウンター業務、図書・雑誌の受入・支払・整理、製本、ILL、ガイドランス、ホームページ更新等に加え、上述2誌の発行業務も行っています。また、17時以降の夜間開館、土曜・日曜・祝日開館担当として、学生3名を非常勤職員として雇用しています。交替で1名ずつ勤務し、カウンター業務および職員より依頼した業務を担当しています。

#### <図書館所在地>

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304

信州大学附属図書館農学部図書館

<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/library/agriculture/>

（信州大学附属図書館農学部図書館 鈴木史子）